

## 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」 平成25年度第3回推進会議の概要について

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の平成25年度第3回推進会議を、平成26年3月26日(水)に開催しました。

第3回推進会議には、7名の委員のうち、6名の委員にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の山田 康彦氏にご出席いただきました。

なお、第3回推進会議の概要は、以下のとおりです。

### 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

石川 正浩(サポーター-いっちゅう 事務局次長兼広報部長)

太田 浩司(三重県PTA連合会 顧問)  
※太田委員は、欠席。

田尾 友児(三重県立紀南高等学校 学校運営協議会 委員)

竹内 勇夫(伊勢市立小俣中学校 校長)

西岡 慶子(株式会社光機械製作所 代表取締役社長)

宮路 正弘(三重県立飯野高等学校 校長)

山田 忍(スクールカウンセラー)

ファシリテーター

山田 康彦(国立大学法人三重大学 教育学部 教授)

### ＜推進会議の進行概要＞

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 13:30

- ・教育長あいさつ
- ・事務局による資料の概要説明  
「平成26年度当初予算(教育委員会関係)の概要、平成26年度当初予算のポイント、当プロジェクトの平成26年度の取組方向」  
「グローバル三重教育プラン」

プロジェクト推進についての意見交換

- ・来年度の展開等について意見交換を実施

次回の開催予定

閉会 15:30

(山口教育長あいさつ、県事業の説明)

冒頭、山口教育長から委員の皆さんに、本日の会議の開催趣旨について説明しました。



その後、事務局より資料に基づき、「平成26年度当初予算(教育委員会関係)の概要」、「平成26年度当初予算のポイント」及び「当プロジェクトの平成26年度の取組方向」について説明しました。

また、平成26年2月に策定した「グローバル三重教育プラン」についても、あわせて説明しました。

※プロジェクトで挑戦する4つの実践取組

- ①「県民総参加による学力の向上」
- ②「地域に開かれた学校づくり」

「教職員の授業力向上」  
「安心して学べる環境づくり」

### (プロジェクト推進についての意見交換)

続いて、山田教授の司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

各委員からは、日頃の活動を通じて感じる課題や子どもの学力向上に向けた翌年度の展開等について、意見や提案をいただきました。

#### 委員からの主な意見

##### 学力の向上について

- ・到達度テストについて、基礎的な知識を問うテストであれば従来のものと変わらないが、課題となっている活用力を重視することであり、評価できる。活用力があって、初めて学力といえる。
- ・到達度テストを実施するにあたっては、市町教育委員会や現場の意見をよく聞いて進めてほしい。
- ・中学校では、コミュニティスクール等の取組が進められているが、小学校では体験活動等にとどまっているので、今後、小学校の取組を強化していくべきではないか。
- ・小学校3, 4年生の時点で山を越えられない子どもが多い。家庭の養育力が落ちており、そのような子どもたちを学校で補っている現状がある。
- ・学ぶ意欲が実感できるような環境作りをお願いしたい。教師の心の余裕が生まれる環境の充実が、学ぶ楽しさにつながると考える。



#### グローバル三重教育プランについて

- ・プランの目標項目では英検が基準となっているが、グローバルの観点からは、TOEICやTOEFLが標準のテストであり、他国の生徒とも点数の比較ができるので、ぜひ活用を進めてほしい。また、TOEICやTOEFLは実際に受けなければその実態がわからないので、中高の英語教員にはぜひ受験してもらいたい。
- ・留学や就職活動の際には、TOEFLの方が英検よりも有利になるが、受験料が高く、何度も受験することが難しい。PTAから補助を出してほしいとの要望を受けた。
- ・英語教育においては、教員の指導力の差により、同じ学校でも学級により学力差が生じることがある。英語は楽しいものだという意識をつけることが大事ではないか。
- ・国や地域の歴史や文化など、語る中身がなければどれだけ英語が話せたとしてもグローバル人材とは言えない。グローバル人材像をより明確にし、事業を進めてもらいたい。
- ・グローバル人材の育成については、キャリア教育とも連携をしながら、視野の広い生徒の育成をお願いしたい。
- ・「わかる」感覚を味わえば、勉強は楽しくなる。英語教育においても、児童生徒が楽しめる雰囲気を作っていくことが重要だと考える。

#### 次回の開催予定

次回(来年度第1回)の推進会議は、来年度の具体的な取組について意見交換を行うため、平成26年5月～6月頃に公開で行う予定です。